

Toll-like receptor9 合成リガンド

CpG-オリゴデオキシヌクレオチド (CpG-ODN)

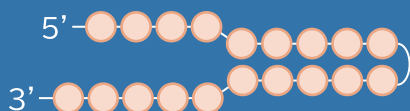
- ✓ ワクチンアジュバントに最適
- ✓ 非メチル化CpGモチーフの合成DNA断片
- ✓ TLR9によって認識, 強力に自然免疫を活性化

Type-A/D CpG-ODN **D35**

- 標的細胞：形質細胞様樹状細胞 (pDCs)
- 産生サイトカイン：IFN- α

[オリゴ核酸の構造]

- 両末端部分PS化オリゴ核酸
- ヘアピン構造
- poly G tail, 回文配列あり



CpG-ODNのTypeによって異なる自然免疫応答を誘導



Type-B/K CpG-ODN **K3**

- 標的細胞：B細胞
- 産生サイトカイン：IL-6等

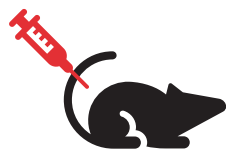
[オリゴ核酸の構造]

- 全PS化オリゴ核酸
- 一本鎖構造



*in vivo*実験に最適

- 低エンドトキシン(0.5 EU/mg以下)を保証
- ネガティブコントロール配列も提供可能



詳細はこちら

CpG-ODNページ



ホームページ



※本製品は世界中のお客様にご使用いただけます。
※本製品は研究用試薬です。臨床目的にはご使用いただけません。

味の素バイオフーマサービス・株式会社ジーンデザイン

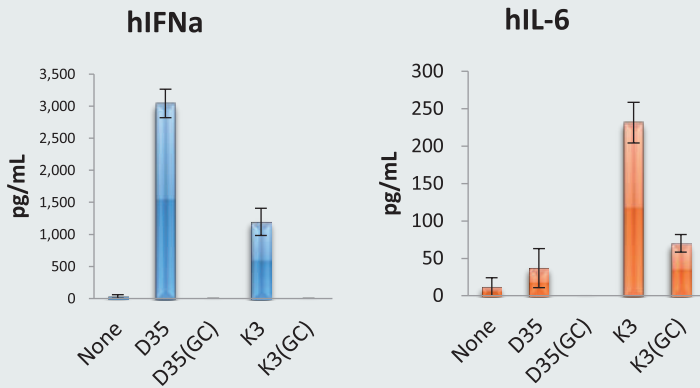
〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ7-7-29 ☎ 072-640-5180 ✉ gdi_info@jp.ajibio-pharma.com



BIO・PHARMA
SERVICES

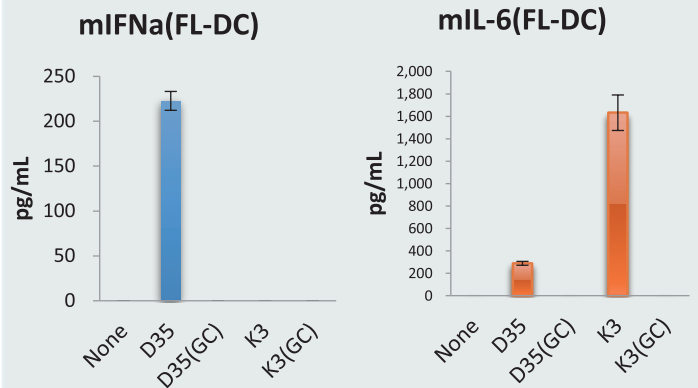
THE POWER TO MAKE®

例1 ヒトPBMCにおけるサイトカイン誘導



ヒトPBMC(1x10⁶cells)を1uMの各CpGで刺激後24時間の培養上清中のヒトIFN-aおよびIL-6濃度をELISAで測定した。棒グラフは平均±SEMを示す。

例2 マウスFL-DCにおけるサイトカイン誘導



FLT3Lで分化誘導したマウス骨髄由来FL-DC(2x10⁶cells)を1uMの各CpGで刺激後24時間の培養上清中のマウスIFN-aおよびIL-6濃度をELISAで測定した。棒グラフは平均±SEMを示す。

本データは、独立行政法人医薬基盤研究所アジュバント開発プロジェクト 石井 健 先生、青枝 大貴 先生 との共同研究の成果としてご恵与頂きました。

【参考文献】

1: Ishii KJ, Gursel I, Gursel M, Klinman DM. Immunotherapeutic utility of stimulatory and suppressive oligodeoxynucleotides. *Curr Opin Mol Ther.* 2004 Apr;6(2):166-74.
2: Verthelyi D, Ishii KJ, Gursel M, Takeshita F, Klinman DM. Human peripheral blood cells differentially recognize and respond to two distinct CPG motifs. *J Immunol.* 2001 Feb 15;166(4):2372-7.

厳密にコントロールされた生産と管理で高品質を保証



in vitro, in vivo
実験に最適

- 大量生産によるコストダウンを実現
- 多角的な製品検定

- アイソレーター内で充填・乾燥・密栓
- エンドトキシン 0.5 EU/mg 以下を保証

カタログ番号	種類	製品	製品内容	供給量	価格(税別)
CN-65001	Type-A	D35	部分S化DNA	10 mg /vial	40,000円
CN-65002	Negative Control	D35 (GC)	D35のコントロール配列	10 mg /vial	40,000円
CN-65003	Type-B	K3	全S化DNA	10 mg /vial	40,000円
CN-65004	Negative Control	K3 (GC)	K3のコントロール配列	10 mg /vial	40,000円

※本製品は研究用試薬です。臨床目的にはご使用いただけません。

【販売店】

【製造元】

味の素バイオフーマサービス
株式会社ジーンデザイン

〒567-0085
大阪府茨木市彩都あさぎ7-7-29
TEL : 072-640-5180
MAIL : gdi_info@jp.ajibio-pharma.com
HP : <https://www.ajioligos.com/>

